

3月3日(水曜日)
ドル/円

ギリシャ追加赤字対策が台風の日

2日(火)の主な推移

ダウ平均株価

10405.98ドル
(+2.19ドル)

米長期金利 (10年債利回り)

3.6079%
(±0.0000%)

NY原油先物

79.68ドル
(+0.98ドル)

チャート: 30分足 2日(火)朝7時 ~ 3日(水)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所: 外為どっとコム

①

本邦輸出企業によるとみられる大口のユーロ売り・円買いや、ギリシャで最大の公務員労働組合「ADEDY」が16日に24時間ストを実施する予定であることが明らかになったことなどから、ユーロ/円が大幅に下落すると、ドル/円も連れ安となり、一時88.88円の安値を付けた。

②

一部通信社がギリシャ政府報道官の話しとして「ギリシャは3日に財政赤字削減に向けた追加措置を発表する」などと伝えると、リスクに対する警戒感がゆるみ、ユーロ/円が上昇。これに連れて、ドル/円もやや上昇した。

③

米国株、商品価格などが全面的に上昇する中、ドルを売ってリスクを取りに行く機運が高まり、ドルは全面安となった。こうした動きの中でドル/円は一時88.55銭までドル安・円高が進んだ。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 88.00-89.90円

本日の米国では、雇用統計に向けた前哨戦となるADP全国雇用者数が発表される。これの結果を受けて、雇用統計の結果予想を修正し、織り込んでいく動きが出ると予想される。また、米国の景況感を見る上で重要なISM非製造業景況指数の発表も予定されている。市場予想を上回る結果となればドル買い、下回ればドル安、という展開になろう。

ただ、最近ではギリシャの財政再建にまつわる問題が外国為替相場全体の台風の目となっていることも留意しておきたい。本日はギリシャ政府から財政再建に向けた追加措置の発表があるとみられており、その内容に注目が集まっている。削減に向けて一段と厳しい対策を打ち出せば、その実効性はともかくユーロは一旦上昇するとみる。ただ、この対策を受けてのドル/円の動きについては予測が難しい。最近では欧州時間ではユーロ/円の動き、米国時間に入るとユーロ/ドルの動きに連れやすい傾向があるため、本日も同様の動きを見せる可能性がある。双方の通貨ペアの動きにも注視すべきだろう。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
3/3(水)	22:15	○	(米) 2月ADP全国雇用者数	-2.2万人	-2.0万人
	24:00	○	(米) 2月ISM非製造業景況指数	50.5	51.0
	28:00	○	(米) 地区連銀経済報告(ページブック)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com